

投資家・株主
のみなさまへ

平成21年4月1日～平成21年9月30日

第60期 中間報告書



株主のみなさまへ



石光会長



森本社長

株主のみなさま方には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
また、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第60期中間期（平成21年4月1日から平成21年9月30日
まで）の事業の概況と中間決算についてご報告申し上げます。

今後も顧客満足度を高めるとともに収益力を強化し企業業績の
向上に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻
を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年12月

代表取締役会長 **石光 輝男**
代表取締役社長 **森本 茂**

事業の概況

当中間期におけるわが国経済は、在庫調整の一巡や経済対策の効果などにより、昨年より続く景気後退の最悪期を脱し、底を打つ兆しが見え始めたものの、本格的な回復には至らず、景気は依然として不透明なまま推移しております。

当社グループの主力マーケットである食品業界におきましても、雇用情勢や所得環境の悪化などを背景に消費者の生活防衛意識が一段と強まり、個人消費が低迷するなど厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で、当中間期の売上高は、取り扱い商品や取引先などの選択と集中に努めたこと、また昨年の取引先の倒産の影響などもあり、16,203百万円と前年同期比2,519百万円の減少となりました。

しかしながら、当社グループは、「食」を通じて人々とともに喜びを共有できる企業を目指し、「THE GLOBAL FOOD MERCHANDISER」を企業像として掲げ、最適産地の発掘から製造、流通、マーケティング、品質管理等の全ての工程に関わり合っ商品価値を高め、いわゆるマーチャンダイジング活動に全力を注ぎつつ、当期は特に業績の回復を最重要課題として取り

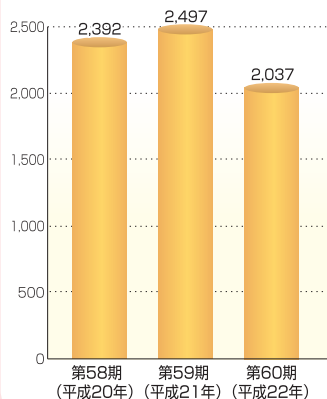
組み、ロスのゼロ化、コスト削減にも最大限の努力を重ねております。

その結果、利益面につきましては、原材料価格の安定および円高の影響等による売上総利益率の改善に加え、販売費および一般管理費の節減などの効果により、営業利益は196百万円（前年同期は356百万円の営業損失）となりました。また、経常利益は140百万円（前年同期は447百万円の経常損失）、中間純利益は62百万円（前年同期は335百万円の中間純損失）となりました。



商品別概況

(単位:百万円)



■コーヒー生豆

モカの原料となるエチオピア産コーヒー生豆の輸入が昨年より途絶えていることによる販売数量の減少および前連結会計年度後半からのコーヒー相場下落による販売単価の下落により、コーヒー生豆の売上高は2,037百万円（前年同期比18.4%減少）となりました。

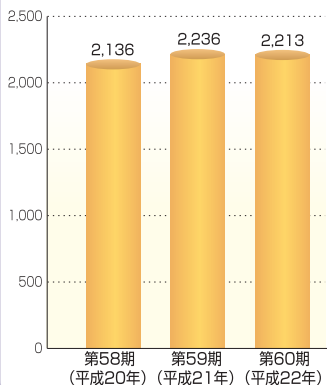


12.6%

13.7%

28.1%

(単位:百万円)

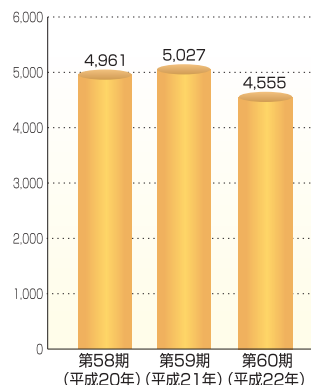


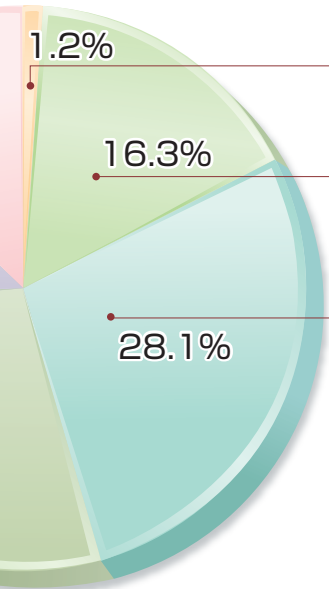
■飲料製品および原料

レギュラーコーヒーの売上高は家庭用の袋入商品が減少したものの、コーヒーバッグが増加したことおよび飲料メーカー向け原料が増加したため、前年同期比7.1%増加しました。インスタントコーヒーの売上高は飲料メーカー向け原料が増加したものの、家庭用の袋入商品が減少したため、前年同期比6.7%減少しました。茶類の売上高は、家庭用の紅茶ティーバッグが減少したため、前年同期比1.5%減少しました。その結果、飲料製品および原料の売上高は2,213百万円（前年同期比1.0%減少）となりました。



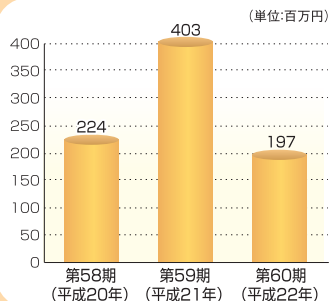
(単位:百万円)





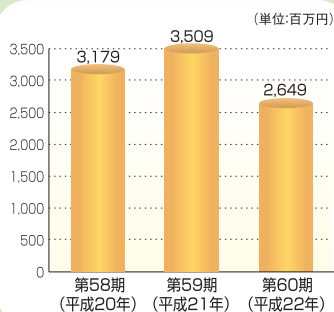
■ 常温食品

輸入商品や自社ブランド商品の売上高は農産缶詰、フルーツ缶詰およびイタリア商品（パスタ・オリーブオイル等）が減少したため、前年同期比18.0%減少しました。国内メーカー商品の売上高は東南アジアに加え、中国向けの輸出が増加したものの、国内販売が減少したため、前年同期比6.8%減少しました。その結果、常温食品の売上高は4,555百万円（前年同期比9.4%減少）となりました。



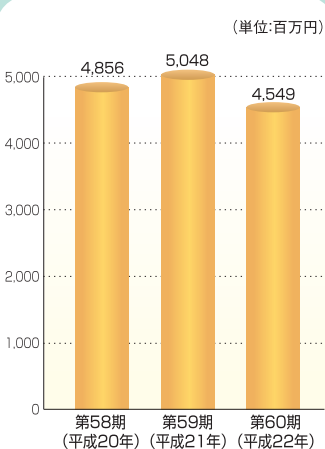
■ その他

その他の売上高につきましては、197百万円（前年同期比50.9%減少）となりました。



■ 食品原料

小豆加工品、粟原料・粟甘露煮製品およびトマト加工品の売上高が減少しました。その結果、食品原料の売上高は2,649百万円（前年同期比24.5%減少）となりました。



■ 冷凍食品

輸入水産品加工品の売上高は外食店向けのエビ加工品や食品メーカー向けのタコ加工品が減少したため前年同期比22.0%減少しました。輸入調理加工品の売上高は中国産製品に対する抵抗感の減少や生産国の変更等により前年同期比35.1%増加しました。国内メーカー商品の売上高は中国向けの輸出が増加したものの、東南アジア向けが減少したことおよび国内販売が減少したため、前年同期比7.8%減少しました。その結果、冷凍食品の売上高は4,549百万円（前年同期比9.9%減少）となりました。

中間連結財務諸表 要旨

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当中間連結会計期間末 (平成21年9月30日現在)	前中間連結会計期間末 (平成20年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	11,513	13,111
固定資産	6,100	6,071
有形固定資産	2,697	2,710
無形固定資産	171	17
投資その他の資産	3,231	3,343
繰延資産	13	—
資産合計	17,627	19,182
(負債の部)		
流動負債	6,806	8,014
固定負債	3,854	4,143
負債合計	10,661	12,158
(純資産の部)		
株主資本	7,003	6,929
資本金	623	623
資本剰余金	357	357
利益剰余金	6,028	5,954
自己株式	△4	△4
評価・換算差額等	△223	△92
その他有価証券評価差額金	1	31
繰延ヘッジ損益	△225	△123
少数株主持分	186	186
純資産合計	6,966	7,024
負債・純資産合計	17,627	19,182

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	当中間連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	前中間連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	16,203	18,723
売上原価	14,090	16,619
売上総利益	2,113	2,104
販売費及び一般管理費	1,917	2,461
営業利益又は営業損失 (△)	196	△356
営業外収益	46	68
営業外費用	101	159
経常利益又は経常損失 (△)	140	△447
特別利益	—	5
特別損失	5	12
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	135	△454
法人税、住民税及び事業税	60	3
法人税等調整額	11	△116
少数株主利益又は 少数株主損失(△)	0	△5
中間純利益又は中間純損失 (△)	62	△335

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当中間連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	前中間連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	453	△461
投資活動による キャッシュ・フロー	△44	94
財務活動による キャッシュ・フロー	△563	619
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△2	△14
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△157	237
現金及び現金同等物の 期首残高	1,762	1,487
現金及び現金同等物の 中間期末残高	1,604	1,724

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



ホームページのご案内

当社ホームページでは、企業情報・IR情報、採用情報、最新ニュース等、当社に関する情報を提供しております。



IR情報

<http://www.ishimitsu.co.jp/>

中間個別財務諸表 要旨 (参考)

中間貸借対照表

(単位:百万円)

	当中間会計期間末 (平成21年9月30日現在)	前中間会計期間末 (平成20年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	11,259	12,890
固定資産	3,403	3,309
有形固定資産	2,189	2,178
無形固定資産	167	13
投資その他の資産	1,046	1,117
繰延資産	13	—
資産合計	14,676	16,199
(負債の部)		
流動負債	6,818	8,054
固定負債	3,735	4,011
負債合計	10,554	12,066
(純資産の部)		
株主資本	4,336	4,238
資本金	623	623
資本剰余金	357	357
利益剰余金	3,361	3,262
自己株式	△4	△4
評価・換算差額等	△214	△104
その他有価証券評価差額金	10	18
繰延ヘッジ損益	△225	△123
純資産合計	4,122	4,133
負債・純資産合計	14,676	16,199

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

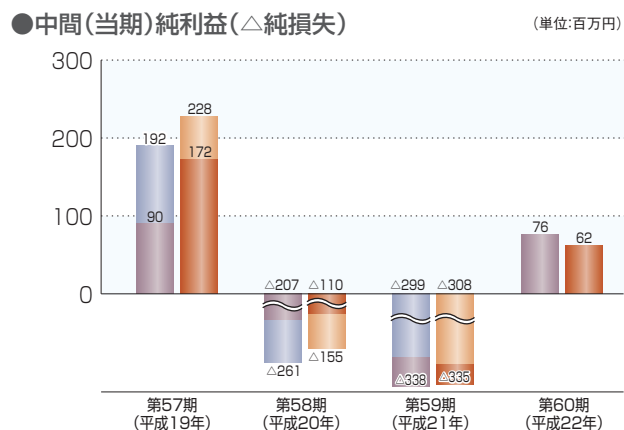
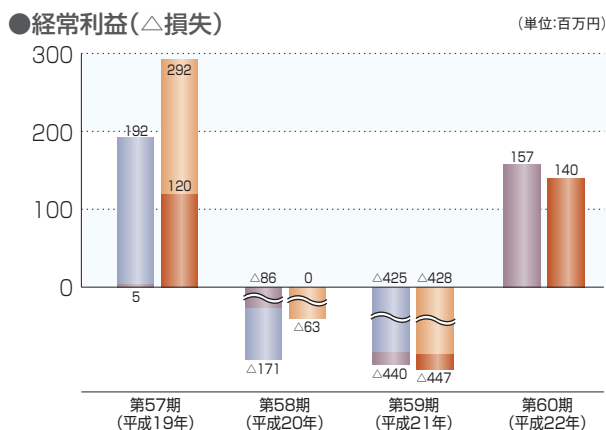
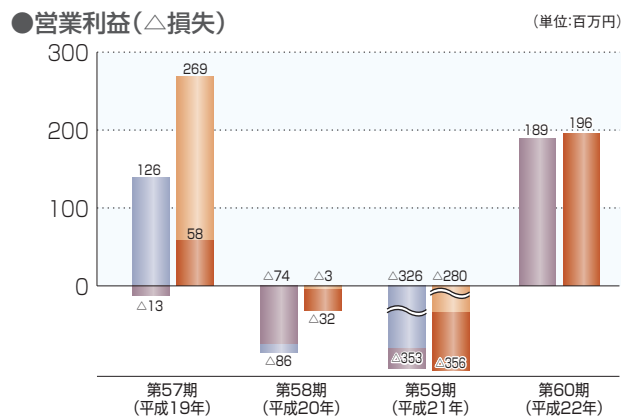
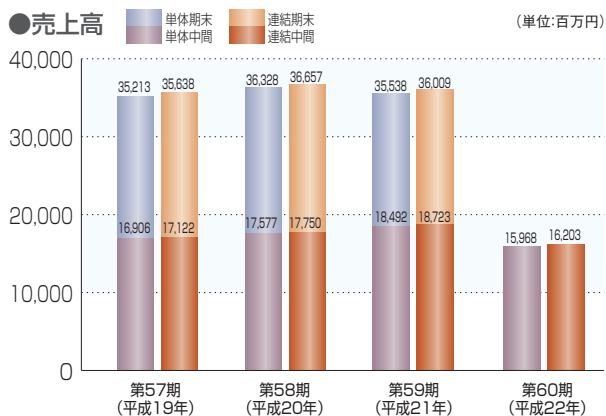
中間損益計算書

(単位:百万円)

	当中間累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	前中間累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	15,968	18,492
売上原価	14,047	16,561
売上総利益	1,920	1,931
販売費及び一般管理費	1,731	2,285
営業利益又は営業損失 (△)	189	△353
営業外収益	71	75
営業外費用	103	162
経常利益又は経常損失 (△)	157	△440
特別利益	—	5
特別損失	5	12
税引前中間純利益又は 税引前中間純損失 (△)	152	△447
法人税、住民税及び事業税	56	1
法人税等調整額	19	△110
中間純利益又は中間純損失 (△)	76	△338

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

業績ハイライト



会社の概要

会社設立 昭和26年5月
 会社名 石光商事株式会社
 資本金 62,320万円
 本社 神戸市灘区岩屋南町4番40号
 従業員数 173名

役員

代表取締役会長 石光 輝男
 代表取締役社長 森本 茂
 常務取締役 中西 繁
 常務取締役 草場 鉄郎
 取締役 山根 清文
 取締役 白石 和子
 常勤監査役 山岸 公夫
 監査役 入江 和義
 監査役 樋口 進二

株式の状況

- ①発行可能株式総数 22,400,000株
 ②発行済株式総数 8,000,000株
 ③株主数 7,304名
 ④大株主

株主名	持株数	出資比率
石光商事従業員持株会	413千株	5.1%
石光 輝男	398	4.9
三菱商事株式会社	378	4.7
株式会社三井住友銀行	252	3.1
駒澤 啓之	211	2.6
日米珈琲株式会社	204	2.5
竹田 和平	200	2.5
丸紅株式会社	192	2.4
石光 百合	165	2.0
伊藤忠商事株式会社	150	1.8

株式分布状況

所有者別	株主数	所有株数
金融機関	11名 (0.15%)	894,560株 (11.18%)
金融商品取引業者	8名 (0.11%)	55,746株 (0.70%)
その他の法人	44名 (0.60%)	1,356,870株 (16.96%)
外国法人等	3名 (0.04%)	5,200株 (0.07%)
個人・その他	7,238名 (99.10%)	5,687,624株 (71.09%)
合計	7,304名 (100.00%)	8,000,000株 (100.00%)

グループ情報

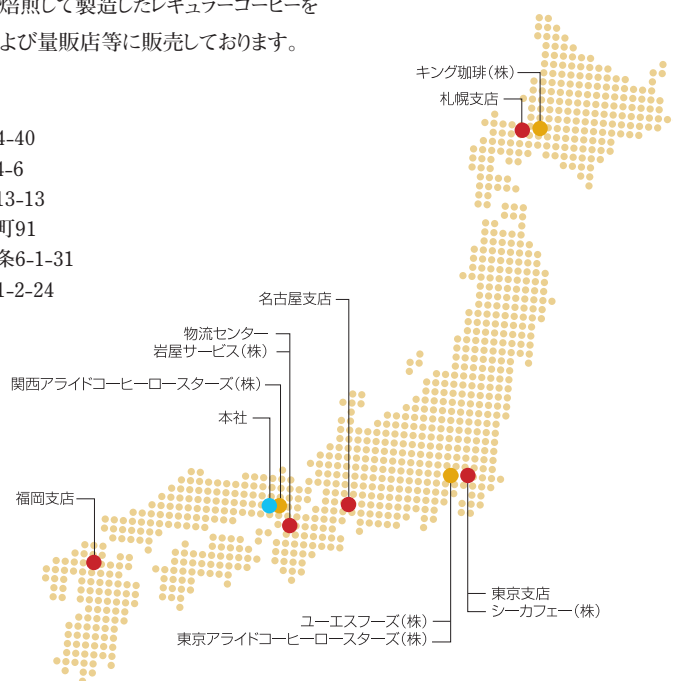
- 当 社 … 当社取扱主要品目を海外から輸入または国内で仕入れ、全国のコーヒー焙煎業者、業務用食品問屋、飲料メーカー、食品加工メーカー、量販店、外食チェーンに販売しております。
- シ ー カ フ ェ ー (株) … 当社取扱品目のアンテナショップとしてイタリアンレストランを経営しております。
- ユ ー エ ス フ ー ズ (株) … コーヒー生豆を自家焙煎喫茶店等の小口ユーザーに販売しております。
- 岩 屋 サ ー ビ ス (株) … 関西地区における当社の物流業務を行っております。
- キ ン グ 珈 琲 (株) … コーヒー生豆を焙煎して製造したレギュラーコーヒーを常温食品および冷凍食品とともに業務用として喫茶店等に販売しております。
- 関西アライドコーヒーロースターズ(株) … コーヒー生豆を焙煎し、当社が販売するレギュラーコーヒーの焙煎・加工受託を行っております。
- 東京アライドコーヒーロースターズ(株) … コーヒー生豆を焙煎して製造したレギュラーコーヒーを飲料メーカーおよび量販店等に販売しております。

〈事業所〉

- 本 社 神戸市灘区岩屋南町4-40
- 東 京 支 店 東京都大田区山王1-4-6
- 福 岡 支 店 福岡市博多区堅粕3-13-13
- 名 古 屋 支 店 名古屋市北区五反田町91
- 札 幌 支 店 札幌市豊平区美園一条6-1-31
- 物 流 セ ン タ ー 大阪市西淀川区福町1-2-24



本 社



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日 (剰余金の配当をする場合)	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 (通話料無料) 0120-094-777

(注) 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の連絡先につきましては、平成21年10月13日に移転したことにより、上記のとおり変更になりました。

上場証券取引所	ジャスダック証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.ishimitsu.co.jp/japanese/koukoku.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

株主優待制度の変更に関するお知らせ

■ 株主優待制度の変更内容

変 更 前		変 更 後	
保有株式数に応じて下記の基準で当社取扱商品を贈呈		保有株式数に応じて下記の基準で当社取扱商品を贈呈	
1) 100株以上1,000株未満	1,500円相当	1) 500株以上1,000株未満	1,500円相当
2) 1,000株以上	3,000円相当	2) 1,000株以上	3,000円相当

■ 株主優待制度の変更時期

平成22年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主様への贈呈より変更させていただきます。